

「国際連帯税をG20大阪サミットで主要議題に」 キャンペーン 賛同署名をお願いします

<キャンペーン主旨>

昨年5月河野太郎外務大臣はG20外相会合で、SDGs(持続可能な開発目標)達成に必要な資金を確保するために「国際連帯税」を提案しました。以後も世界と国内とに向けて同税の必要性を訴えています。私たちはこれを歓迎し、本年6月開催のG20大阪サミットにおいて議長国日本が「国際連帯税を主要議題として取り上げること」を要求して、キャンペーンを立ち上げました。あなたの賛同署名をお願いします。

1、世界の貧困や格差の解消、「誰ひとり取り残さない」社会の実現を理念とする SDGs を達成するには莫大な資金が必要であり、先進国などによる政府開発援助(ODA)ではとうてい間に合いません。新しい資金源として期待されているのが、グローバル化で受益している経済セクターに課税しその税収を上記課題の解決に充てようとする国際連帯税です。具体的には、金融取引や電子商取引、国際線航空・船舶(運賃)等への課税です。

2、国際連帯税の活動は 2006 年パリ国際会議で旗揚げし、それ以後フランスや韓国など 14 カ国が航空券連帯税を導入し進展を見せました。しかし、2011 年 G20カンヌ・サミットでビル・ゲイツ氏の開発のための資金調達に関する報告を各国首脳が議論して以降、国際社会において国際連帯税や革新的資金源の議論は極めて低調となっています。

3、そういう中で、河野太郎外務大臣は、昨年 5 月のG20外相会合での発言を皮切りに「国際社会は、2030 年までの SDGs 達成に向けて必要な資金ギャップを埋めるため、国際連帯税を含む革新的資金調達のあり方を真剣に検討する必要がある」等と国内外で訴えてきています。これは実に画期的なことと言えます。

4、本年 6 月には日本が議長国となり G20大阪サミットが開催されますが、国際的に国際連帯税導入の機運を高めていく絶好の機会です。つまり、私たちは河野大臣の訴えを心から歓迎し、SDGs 達成に必要な資金源として国際連帯税をサミットの主要議題として取り上げるよう議長国である日本政府に要求していきたいと思えます。

5、以上の要求をかなえるべく、私たちは大きなうねりを創り出すキャンペーンを立ち上げました。具体的には、関心のある市民、有識者のみなさまがこのキャンペーンの主旨に賛同していただき、署名をしていただくことです。ネットからの署名は、<https://bit.ly/2DmxyVa> から。FAX での署名は、下記欄にお書きの上、お送りください。

【Fax 送付先：グローバル連帯税フォーラム FAX 番号：03-3335-7815】

●私は、2019年6月開催のG20大阪サミットにおいて議長国日本が「SDGs 達成のために国際連帯税を主要議題として取り上げること」に賛同し署名します。

お名前	所属(団体・大学など)	役職など	メールアドレス

<キャンペーン事務局>

グローバル連帯税フォーラム ☎:090-3598-3251 / Email: gtaxftt@gmail.com (担当:田中)